2020年 2月



ながいともこ News

日本共産党北区議員団 〒114-8508 王子本町1-15-22

080-4429-6338 ご相談はお気軽に

羽田新ルート、問題の試験飛行開始!



都心ルート下には、住宅、学校、保育園、病院などが (撮影地は浮間3丁目 浮間小学校付近 2月5日)

国交省は、都心を低空で飛行する羽田新ルートを住民や自治体の理解は得たとし、3月29日から運用を開始するとしています。

現在、運用開始に先立ち実際に乗客を乗せた 旅客機で試験運行が始まっています。ルート下 にあたる住民の方たちは、次から次へ低空で飛 来する旅客機での実機飛行を目の当たりにし、 騒音や落下物など生活に不安を及ぼす羽田新飛 行ルートは、やめるべきだとの声が一段と広 がっています。また、アメリカのデルタ航空は、 新ルートに関し、新たに採用された着陸方法で は「安全性が社内で確認できない」として、2 日に始まった実機飛行確認での運用を見合わせ ています。

都心低空飛行許さず!住民の会が北区で学習会開催

2月10日 赤羽北区民センターで「羽田低空飛行緊急学習会」が行われました。会場はいっぱいとなり区内での関心の高さが示されました。航空評論家で元JALのパイロットの杉江弘さんからは、2月2日、実機飛行初日に落下物の目撃情報、実際の騒音計測では、80デシベル以上の騒音値が示された事やカナディアン航空は成田に着陸を変更し、デルタ航空は新ルートの進入角度は受け入れられないと回答をした事など最新の動きとともに、整備士不足の現状では、落下物などの安全対策を行ったことにはならないなど、国の航空政策が命や安全を軽視しているのではないかと批判しました。



杉江さんの講演とともに、住民会の浅野代表の挨拶 山添拓参院議員の国会報告、羽田問題プロジェクト 代表の大村さんそれぞれからお話を頂きました。

コミニティバス新規路線拡充へ!

現在、北区基本計画2020(案)を策定中です。地域で、待望されていた コミニティバスの新規路線拡充が明記されました。浮間地域では住民のみな さんが、コミニティバスなど、バス路線の拡充を求め、署名や要請行動を 継続させてきました。今後は、浮間、赤羽西地域に新規路線が整備されるよう これからも、みなさんとともに頑張ります。



現在運行中のコミニティバス

新規路線運行に向けた予定

2019年12月~ 第1回北区地域公共交通会議 開催(その後4回開催予定)

2022年3月 北区地域公共交通計画策定

2022年度 地域公共交通事業者選定等

2023年度 新規路線試験運行開始

区内交通手段の確保(北区基本計画2020案より抜粋)

所管部:土木部 全体計画A 現況B 必要事業量 (元年度末見込) (11年度目標) (2~6年度) (7~11年度) A - B = C拡 充 推進 拡 充 拡 充 拡 充 (内訳) 地域公共交通計画の 検 討 策定・推進 策定・推進 推進 策定及び推進 コミュニティバス路 線の拡充 2路線運行 2路線拡充 1路線拡充 1路線拡充 4.路線運行

482

210

272

東京都北区令和2年度予算」から

事業費(百万円)

- 〇大規模水害への対応強化
- ・大規模水害を想定した避難行動の基本方針の普及
- ・聴覚障害者へ戸別受信機の無償配布・自主避難所の開設体制の見直
- ○がけ・擁壁改修アドバイザー派遣事業新設
- 〇いきがい活動センターの開設・健康増進センターを廃止し 高齢者の就労、活動支援、健康づくりなどの拠点を新設
- 〇がん検診の拡充・40才以上の肺がん検診の開始など
- ○歯周病・口腔機能維持向上健診85歳まで拡大
- ○学校給食費保護者負担軽減実施(第2子半額、第3子全額補助)
- ○産後ディケア事業の拡充・3施設から6施設へ自己負担額の引き下げ
- 〇(仮称) 赤羽駅西口前自転車駐車場整備 (パルロード付近)

2月7日に2020年度、当初予算が発表されました。予算総額は約1556億円、災害、高齢、子育て関連の他、新一万円札や大河ドラマとなる渋沢栄一氏をテーマにした大河ドラマ館の設置など北区をアピールする、シティプロモーションにも力を注いでいく予算となっています。



新型コロナウイルス相談窓口設置へ

新型コロナウイルス感染症に感染した疑いのあるかたからの相談等に対応するために「帰国者・積極者電話相談センター」を設置しました。発熱や呼吸器症状があり、中国湖北省への渡航歴や患者との接触歴がある方からの電話相談を受け付けます。

北区「帰国者・接触者電話相談センター」 03-3919-3104 午前9時~午後5時まで



相談窓口の設置や予防品の備蓄などを求め申し入れを提出。(1月30日北区議員団)